

# 第2回 避難訓練コンサート



## 呉シティ・ウィンド・アンサンブル

私たち呉シティ・ウィンド・アンサンブルは呉市文化ホールを拠点に活動する市民吹奏楽団です。当楽団は1990年に設立し、今年で24年を迎えました。団員は学生・社会人で構成され、仕事・家事・学業のかたわら週2回程度、練習を行っています。主な活動として、6月のファンタジーコンサートと12月の定期演奏会の開催や、呉市内での依頼演奏など、地域に根ざした活動をしております。今回は6月13日(土)18:30より、呉市文化ホールにて、ファンタジーコンサートを開催致します。皆さま、ぜひお越し下さい。

### ■地震発生時の状況判断による分類(状況判断による分類表)

状況	震度	状況の事例	対応
状況1 公演が継続できる	震度 1 震度 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出演者はほとんど気づかない程度。</li> <li>●観客の大勢の人に感じる程度。</li> <li>●吊り物がわずかに揺れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出演者が揺れに気が付くなどして公演が一時中断した場合は観客へアナウンス。</li> <li>●舞台・音響・照明担当者は、舞台その他セットされたものが公演あるいは安全上支障がないかどうか目視点検する。</li> <li>●施設管理担当は、エレベーターその他の設備機器などの点検を行う。 (楽屋担当者は楽屋内の設備・備品に異常がないか目視点検する。)</li> </ul>
状況2 公演が中断される	震度 3 震度 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公演が中断される状況。</li> <li>●出演者、観客ともに揺れを感じ、恐怖感により悲鳴を発し、身の安全を図ろうとする者が出る。</li> <li>●吊り物は大きく揺れ、座りの悪い物は倒れる</li> </ul>	<p>(パニック防止のアナウンス。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●舞台担当者は主催者の了解のもとに公演を中断し、照明・音響担当者とともに舞台その他のセットされたものが点灯、移動、機能障害を起こしていないかどうか、さらに安全であるかどうかについて確認する。</li> <li>●音響担当者は、客席に向かって安全確認作業を行っている旨、放送する。</li> <li>●施設管理担当は、ガス漏れ、水漏れ、その他建築・設備全般について、その損傷あるいは機能障害などについて調査点検を行う。 (揺れが収まったら吊り物の落下のおそれのある場所の観客を移動させる。) (負傷者の確認、避難経路確認。) (中断又は再開のアナウンス。) (楽屋管理は被害状況及び公演関係者の安全確認。) (中断及び再開の協議・決定。)</li> </ul>
状況3 公演が中止される	震度 5弱 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公演が中止される状況。</li> <li>●物の移動、転倒、落下があり、出演者及び観客は恐怖のためパニック状態になる</li> <li>●停電の可能性も高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●舞台担当者は、出演者の避難誘導を行う。</li> <li>●照明担当者は、舞台上の照明を地明かりとし、客席は全点灯する。</li> <li>●音響担当者は、安全かつ速やかに客を館外に避難するよう避難放送を行う。</li> <li>●事務担当者は、全館に避難放送をするとともに負傷者が居れば手助けをする。 (揺れが収まった後、負傷者及び被害状況を確認。) (パニックで観客が出口に殺到しないように呼びかけ。) (観客への状況説明・情報提供。) (避難経路の安全確認。) (観客の避難誘導。) (情報収集及び情報提供。) (役割に応じ公演関係者、観客の避難誘導。)</li> </ul> <p style="text-align: right;">( )カッコ内は、文化ホールで追加の項目</p>

### 〈観客への対応〉

- シャンデリア等の吊り物やガラス壁など落下のおそれがあるものの近くにいる観客を移動させる
- 小さな揺れ(おおむね震度2以下)でも出演者が気づくなどして公演が一時中断した場合は、観客に情報をアナウンスする。被害がないことが確認されたら、観客へ館内外で特に被害がないことをアナウンスの上、公演を再開する。

出典/文化庁委嘱事業 改訂公立文化会館のトラブル対応ハンドブック(平成19年3月)

- ### ■主催者からのお願い
- 会場内での写真撮影/録音/模写などの行為及びそれらが可能な機材の持込はお断りいたします。
  - 会場内では時計アラーム/携帯電話などが鳴らないようご注意ください。
  - 今後の参考のため、アンケートにご協力をお願いします

### ■避難行動(誘導)について

- 1 立ってられないような大きな地震の場合には、天井や壁からの落下物がある可能性があります。従ってすぐに逃げるのではなく、自分自身の身を守る行動を取りましょう。まずカバンやコートで頭を守り、椅子の背よりも低く身を隠して下さい。
- 2 揺れが小さくなった、あるいは歩ける状態になったら、すぐに避難に移ります。主催者やスタッフが皆様を安全な場所に誘導します。
- 3 避難中にガラスの破損、壁の崩落などで通行できない通路や開かなくなったドアがある可能性があります。スタッフは安全な避難通路を選択して、避難場所へ誘導しますので、落ち着いて冷静にスタッフの誘導に従って下さい。
- 4 避難後に客席内へ荷物等を取りに行くのは大変危険です。安全確認ができるまで、避難場所に待機して下さい。